

医療安全論

責任者・コーディネーター	共通基盤看護学講座 三浦 幸枝 教授		
担当講座・学科(分野)	共通基盤看護学講座		
対象学年	2	区分・時間数	講義 12時間
期 間	後期		
単 位 数	1単位		

・学習方針（講義概要等）

日本の医療において、安全確保が重要な課題となった歴史、医療現場で発生しやすい事故やその防止対策について学ぶことによって、医療安全確保の重要性を理解する。医療現場で起こりやすい事故とその発生のメカニズムを学ぶことによって、医療安全を確保するための基本的な考え方、現場で行うべき安全行動の実際について理解し、臨地実習や卒業後の実践場面において、安全が確保された行動を実施できるようになる。事故事例の分析などを通して、チーム活動による安全文化の醸成の重要性を学ぶ。事故発生時の組織的な対応、組織や個人が負うべき法的責任、被害者および事故当事者への支援のあり方について理解する。

・教育成果（アウトカム）

医療事故の契機となった事故とその発生要因、国や各医療機関で行われている患者安全を推進するための事故防止活動などを学ぶことによって、医療において安全確保をすることの重要性について、理解が深まる。具体的な事故事例の発生要因分析や事故防止対策の検討などグループで作業することによって、組織的に事故を防止するためのチーム活動を行う上で必要な基本的な態度が身につく。患者の安全確保のために必要な基本的な態度と看護職として期待されている責務を理解し、看護の実践に当たって安全確保を考えた行動できるようになる。

【学位授与方針と当該授業科目との関連】

ディプロマポリシー：2,3,4,6,7

・到達目標（SBO）

1. リスクマネジメントの歴史と世界の動向を学び、国や医療機関等のリスクマネジメントの取り組みを説明できる。
2. 医療安全と医療の質との関係について述べられる。
3. 人間工学的な事故防止対策と手順の順守など安全行動を実施する重要性が述べられる。
4. 安全で清潔な療養環境と適切な勤務環境の確保の必要性が述べられる。
5. 事故発生時の対応と事故の被害者及び当事者への支援のあり方について述べられる。
6. 医療事故にかかわる看護職の倫理と責務及び法的責任について述べられる。
7. インシデント（ヒヤリ・ハット）レポートの重要性と今後の医療安全確保の課題について考える態度を身につける。

・ 授業日程

(矢) 西 1-B 講義室

【講義】

月日	曜日	時限	講座(学科)	担当教員	授業内容/到達目標
9/16	木	3	共通基盤看護学講座	三浦 幸枝 教授	<p>医療安全とリスクマネジメントの歴史と動向について講義とディスカッションを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 医療安全とリスクマネジメントの歴史と動向を学ぶことによって、我が国の医療安全体制整備の経過を理解し、医療安全と医療の質との関連について説明できる
9/30	木	3	附属病院	千葉 香 副看護部長	<p>医療におけるリスクマネジメントの概念及び、その組織作りについて、講義とディスカッションを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 医療のリスクマネジメントとは何かを学ぶことによって、医療機関や福祉施設における安全管理体制整備の在り方を説明できる
10/14	木	3	共通基盤看護学講座	三浦 幸枝 教授	<p>医療事故発生のメカニズムと人間工学的対策の必要性について、講義とディスカッションを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 事象の連鎖として起こる事故や事故発生のメカニズムを学ぶことによって、勤務環境の改善と人間工学的対応の必要性を述べる事ができる
10/28	木	3	共通基盤看護学講座	佐藤 奈美枝 特任准教授	<p>医療事故防止の考え方について、講義とディスカッションを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 違反やヒューマンエラー及びコミュニケーションエラー発生のメカニズムを理解し、その防止対策について具体的に述べる事ができる

11/4	木	3	附属病院	菅原 敏子 主任看護師 医療安全管理室	医療のリスクマネジメントプロセスとその実際について、講義とディスカッションを行う。 ・リスクマネジメントプロセスを学ぶことによって、リスクの把握から、その対応と評価まで、具体的に説明できる。特にインシデントレポートの重要性について述べられる。
11/11	木	3	共通基盤看護学講座	三浦 幸枝 教授	医療事故にかかわる倫理と法的問題について講義とディスカッションを行う ・医療職に求められる倫理と法的責任について理解し、事故発生時の事故当事者と被害者への支援について具体的に述べるができる。
11/25	木	3	共通基盤看護学講座	佐藤 奈美枝 特任准教授	具体的な事故事例についての分析と対応策をグループで検討する（GW）。 ・実際の事故事例の分析と対応策の検討を行うことを通して、チームで取り組む意義と他のグループから学ぶ意義について述べるができる
12/2	木	3	共通基盤看護学講座	三浦 幸枝 教授 佐藤 奈美枝 特任准教授	事故事例の分析と対応のGWの振り返りをグループで行い、結果を報告して共有する。 ・事例検討の振り返りと結果の共有を通して、医療安全確保のために身につけるべき、知識と態度を身につける

・教科書・参考書等

教：教科書 参：参考書 推：推薦図書

	書籍名	著者名	発行所	発行年
教	医療安全とリスクマネジメント	嶋森好子・任和子 編集	ヌーヴェル ヒロカワ	2008
参	組織事故 起こるべくして起こる事故からの脱出	ジェームズ・リーズン 著；塩見弘監訳	日科技連	1999
参	Safety - 1 & Safety-II -安全マネジメントの過去と未来 -	エリック・ホルナゲル（北村正晴/小松原明哲 監訳）	海文堂	2015

参	医療におけるヒューマンエラー 第2版	河野龍太郎	医学書院	2014
---	-----------------------	-------	------	------

成績評価方法

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事前課題の学修内容及びディスカッション後の振り返りの記述内容を目標に照らして評価 10点 ・ GWの参加状況（積極的な発言と他者の意見を聞く姿勢、まとめの作成への貢献度）を評価 10点 ・ 定期試験の結果 80点で評価する。
--

・ 特記事項・その他

<p>【事前事後学修の具体的内容及び時間】 各授業の到達目標を確認し、毎回の授業に対して最低30分以上の予習、復習を行い、知識の定着と理解の促進を図ること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ レポート等課題は、ウェブクラスで課題、書式、提出期限等を確認して、ウェブクラスへ提出のこと <p>【授業における試験やレポート等の課題に対するフィードバック】 授業終了時質問を受ける。毎回リアクションペーパーを提出する。質問・疑問があれば、次の授業において説明して理解を深める。 授業内で小テストやレポート等を課した場合は、評価後適宜コメントを付し返却する。</p> <p>【保健師助産師看護師学校養成所指定規則教育内容】 看護師（別表3）：統合分野 看護の統合と実践</p>
--

・ 授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
講義	プロジェクター	1	講義用スライド投影
講義	書画カメラ	1	講義用資料投影
講義	模造紙・付箋紙・サインペン・定規等一式	15	グループワークで使用（6-7人×15セット）